

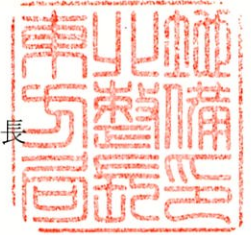


公共工事等における新技術活用システム事後評価結果通知書

国東整施企第63号
国東整海技第12号
令和5年1月10日

ダンレックス株式会社 御中

国土交通省
東北地方整備局長



下記の技術について、新技術活用評価会議における評価の結果を通知します。なお、評価結果についてはNETISに掲載します。

記

- 1 技術名称 通信式同期工事灯 アイコレクト
- 2 NETIS登録番号 KT-210003-A
- 3 評価結果 活用効果評価結果のとおり
- 4 継続調査等の必要性について 継続調査等を必要としない。
- 5 その他 この結果に基づき、当該技術のNETIS登録番号・情報種別記号は「-VE」に変更され、掲載期限が当初にNETIS登録した翌年度の4月1日から起算して10年を経過した日まで延長されます。
また、今後の活用効果調査及び事後評価は実施されません。

異議申立について

上記について異議がある場合は、事後評価結果を通知した日から起算して10日以内に整備局長宛てに異議理由を明示した書面を提出することにより、異議申立を行うことができます。

(提出先)

東北地方整備局
新技術活用評価会議事務局

活用効果評価結果

令和4年度

東北地方整備局 / 新技術活用評価会議

NETIS 情報	開発目標	安全性の向上、省資源・省エネルギー、品質の向上				
	新技術登録番号	KT-210003- VE	区分	製品		
	分類	仮設工 - 仮設材設置撤去工				
	新技術名	通信式同期工事灯 アイコレクト (リン酸鉄リチウムイオン電池を使用した工事灯を2.4GHz周波数帯を用い同期点減させる技術)				
	比較する従来技術 (従来工法)	ソーラー工事灯				
新技術の概要及び特徴	本技術は、工事規制区域でリン酸鉄リチウムイオン電池を使用した工事灯を2.4GHz 周波数帯を用い同期点減させる技術で、従来はソーラー工事灯に対応していた。本技術の活用により場所に捉われず同期点減が可能となり規制ラインが視認し易くなるため安全性の向上が図れます。					
活用効果評価	所見	従来技術に比べて活用の効果は同程度である。 なお、下記の理由により、安全性については従来技術より優れた評価を得ている。 安全性: 同期点減させることにより規制ラインが視認し易くなり、安全性が向上する。				
	次回以降の評価に対する視点と評価の必要性	活用効果調査の結果、活用現場の違いによる大きな差異は認められないため、情報種類記号を「-VE」とし、今後の活用調査、事後評価は実施しないものとする。				
	留意事項					
	活用効果調査表における改良点及び要望					
活用効果調査結果	対象工事	1 橋脚工事	「近畿地方整備局」	(従来技術:ソーラー工事灯)	施工者選定型(契約後提案)	R4
		2 橋梁補強工事	「中部地方整備局」	(従来技術:ソーラー工事灯)	施工者選定型(契約後提案)	R3
		3 舗装補修工事	「北海道開発局」	(従来技術:ソーラー工事灯)	試行申請型(契約後提案)	R4
		4 護岸工事	「関東地方整備局」	(従来技術:ソーラー工事灯)	施工者選定型(契約後提案)	R4
		5 砂防堰堤工事	「北海道開発局」	(従来技術:ソーラー工事灯)	施工者選定型(契約後提案)	R4
		6 舗装修繕工事	「四国地方整備局」	(従来技術:ソーラー工事灯)	施工者選定型(契約後提案)	R4
		7 橋梁上部工事	「四国地方整備局」	(従来技術:ソーラー工事灯)	施工者選定型(契約後提案)	R4
		8 舗装工事	「北海道開発局」	(従来技術:ソーラー工事灯)	施工者選定型(契約後提案)	R3
		9 共同溝工事	「九州地方整備局」	(従来技術:ソーラー工事灯)	施工者選定型(契約後提案)	R4
		10 無電柱化工事	「九州地方整備局」	(従来技術:ソーラー工事灯)	施工者選定型(契約後提案)	R4
		11 区画整理工事	「北海道開発局」	(従来技術:ソーラー工事灯)	施工者選定型(契約後提案)	R4
		12 橋梁補修工事	「北海道開発局」	(従来技術:ソーラー工事灯)	施工者選定型(契約後提案)	R4
		13 堤防強化工事	「北陸地方整備局」	(従来技術:ソーラー工事灯)	施工者選定型(契約後提案)	R4
		14 水門ゲート設備工事	「関東地方整備局」	(従来技術:ソーラー工事灯)	施工者選定型(契約後提案)	R4
		15 橋梁補修工事	「北海道開発局」	(従来技術:ソーラー工事灯)	施工者選定型(契約後提案)	R4
		16 護岸工事	「近畿地方整備局」	(従来技術:ソーラー工事灯)	施工者選定型(契約後提案)	R4
		17 区画整理工事	「北海道開発局」	(従来技術:ソーラー工事灯)	施工者選定型(契約後提案)	R3
		18 災害防除工事	「北海道開発局」	(従来技術:ソーラー工事灯)	施工者選定型(契約後提案)	R4
		19 トンネル補修工事	「北海道開発局」	(従来技術:ソーラー工事灯)	施工者選定型(契約後提案)	R4
		20 路面補修工事	「近畿地方整備局」	(従来技術:ソーラー工事灯)	施工者選定型(契約後提案)	R4
		21 舗装工事	「近畿地方整備局」	(従来技術:ソーラー工事灯)	施工者選定型(契約後提案)	R4
		22 安全施設工事	「東北地方整備局」	(従来技術:ソーラー工事灯)	施工者選定型(契約後提案)	R4
		23 安全施設工事	「東北地方整備局」	(従来技術:ソーラー工事灯)	施工者選定型(契約後提案)	R3
		24 災害復旧工事	「東北地方整備局」	(従来技術:ソーラー工事灯)	施工者選定型(契約後提案)	R4
		25 道路維持工事	「北海道開発局」	(従来技術:ソーラー工事灯)	施工者選定型(契約後提案)	R4
		26 法面工事	「沖縄総合事務局」	(従来技術:ソーラー工事灯)	施工者選定型(契約後提案)	R4
		27 岸壁工事	「九州地方整備局」	(従来技術:ソーラー工事灯)	施工者選定型(契約後提案)	R4
		28 防災工事	「東北地方整備局」	(従来技術:ソーラー工事灯)	施工者選定型(契約後提案)	R4
		29 安全施設工事	「東北地方整備局」	(従来技術:ソーラー工事灯)	施工者選定型(契約後提案)	R4
		30 安全施設工事	「東北地方整備局」	(従来技術:ソーラー工事灯)	施工者選定型(契約後提案)	R4

活用効果評価結果

令和4年度

東北地方整備局 / 新技術活用評価会議

項目	ケース番号 および年度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
		R4	R3	R4	R4	R4	R4	R4	R3	R4	R4	R4	R4	R4	R4	R4	R4	R3	R4	R4
施工時評価	経済性	C	C	D	D	D	C	C	C	D	D	D	C	D	A	C	B	D	D	B
	工程	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
	品質・出来形	C	C	B	B	B	C	C	B	B	C	B	C	C	C	C	C	B	C	C
	安全性	B	B	A	B	A	A	B	C	B	A	B	B	B	A	B	A	B	B	B
	施工性	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	B	C	C
	環境	C	C	B	B	B	A	B	C	B	C	B	C	C	A	C	B	B	B	C
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総合評価点		C	C	C	C	C	B	C	C	C	C	C	C	C	B	C	B	C	C	C
項目	ケース番号 および年度	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	項目の 平均(点)		従来技術 (従来工法) (点)					
		R4	R4	R4	R3	R4	R4	R4	R4	R4	R4	R4								
施工時評価	経済性	D	C	D	C	C	B	D	A	D	D	D			C	C				
	工程	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C			C	C				
	品質・出来形	B	C	B	B	B	B	C	B	B	B	B			C	C				
	安全性	B	A	B	B	C	A	A	B	B	B	B			B	C				
	施工性	C	C	C	C	C	D	C	B	C	C	C			C	C				
	環境	C	C	C	B	C	A	C	B	C	C	C			C	C				
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			-	-				
総合評価点		C	C	C	C	C	B	C	B	C	C	C			C	C				
今後、当該技術を活用出来る 工事に活用したいか	今後是非活用したい				活用を検討したい			場合によっては活用 することもある			技術の改良を強く望む			優位性における判定						
		22%			47%			26%			5%			A	従来技術より大幅に優れる					
														B	従来技術より優れる					
														C	従来技術と同等					
													D	従来技術より劣る						
追跡調査の必要性		無し																		
追跡調査		-																		